

三原市地域公共交通計画策定に向けたアンケート調査結果概要について

1. アンケート調査の概要

種 類 (調査の対象)	実施概要		
①市民	市民（満 15 歳以上の市内居住者）を対象に，地域公共交通の利用実態，満足度，要望等の意見，また今後の地域公共交通の維持・活性化の考えなどを把握。		
	■配布回収方法：郵送配布／郵送・WEB 回収 ■配布件数：3,000 世帯（1 世帯に調査票を 2 通配布） ■有効サンプル数：1,968 件（回収 1,389 世帯，世帯ベース回収率 46.3%）		
②路線バス 利用者	路線バスの利用者を対象に，利用状況や満足度，問題点などを把握。		
	■配布回収方法：三原駅前バス乗り場で乗車客に手渡し配布・車内配布（河内・甲山線のみ）／郵送・WEB 回収 ■配布件数：641 件 ■回収数：194 件（回収率 30.3%）		
③地域コミュ ニティ交通 利用者	地域コミュニティ交通（6 路線）の利用者を対象に，利用状況や満足度，問題点などを把握。		
	■配布回収方法：車内で乗務員から手渡し配布／郵送または車内回収		
	■配布・回収件数		
		配布数	回収数
	本郷ふれあいタクシー	78	61
	久井のりあいタクシーはなさく号	22	19
	大和ふれあいタクシー	39	28
	佐木島循環バス	15	12
幸崎おでかけ号	23	20	
八幡町民タクシーさくら号	20	16	
④民生委員 ・児童委員	民生委員・児童委員を対象として，地域の生活移動で困っている高齢者等の実態や問題点等を把握。		
	■配布回収方法：会議時に手渡し配布・郵送回収 ■対象数：240 名 ■回収数：186 件（回収率 77.5%）		

2. アンケート調査結果

先述した4種類のアンケート調査結果より、主要な項目について以下より整理する。

なお、用いる調査の種類は、各項目及び図タイトルに記載している。

(1) 日常生活での移動

①主な外出先地域 <市民アンケート結果>

- 地域別で主な外出先をみると、三原地域では自地域内の割合が9割以上を占めており、本郷地域では「三原地域」と自地域内が同程度、久井地域では「三原地域」や「世羅町」への外出が多い。大和地域では隣接する「世羅町」や「東広島市」の外出割合が高い。

[市域全体]

[地 域 別]

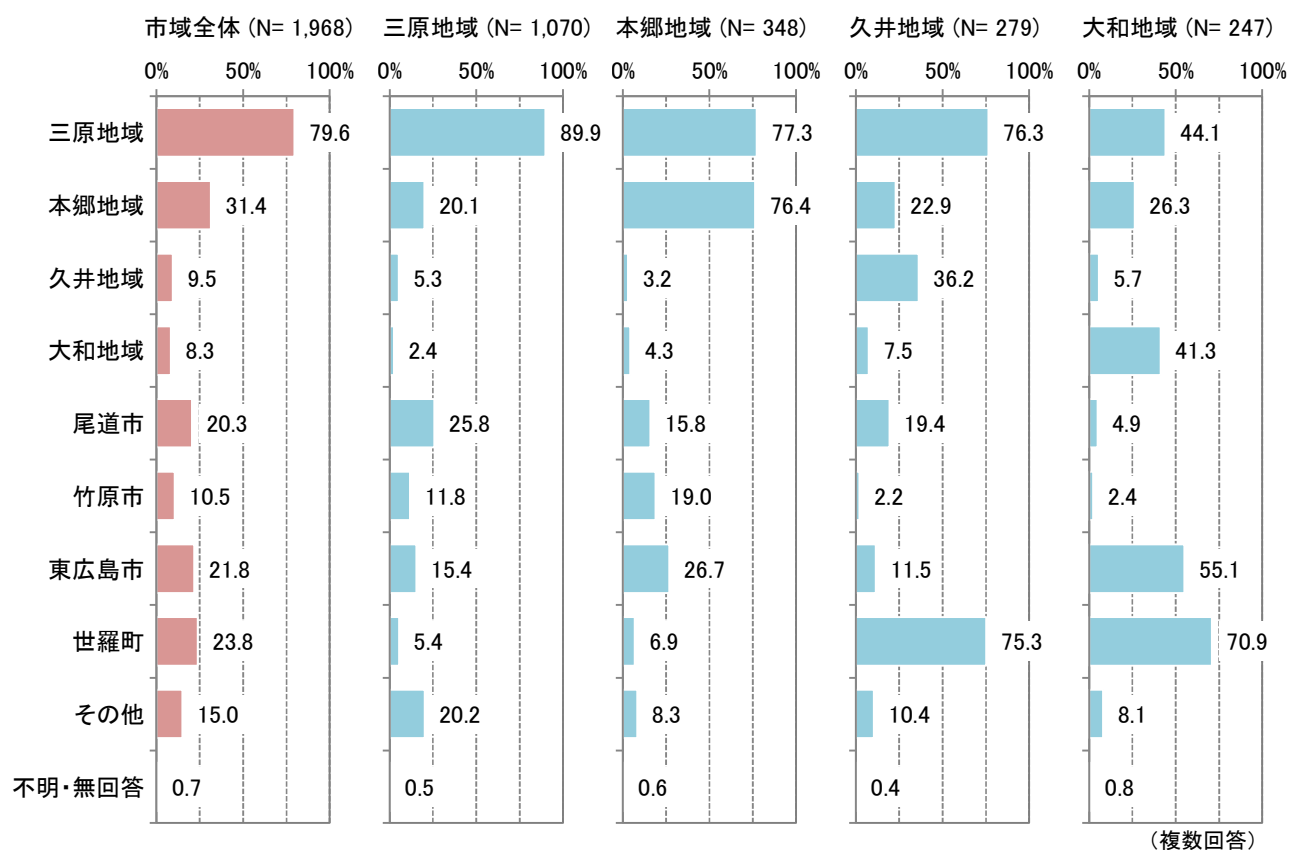
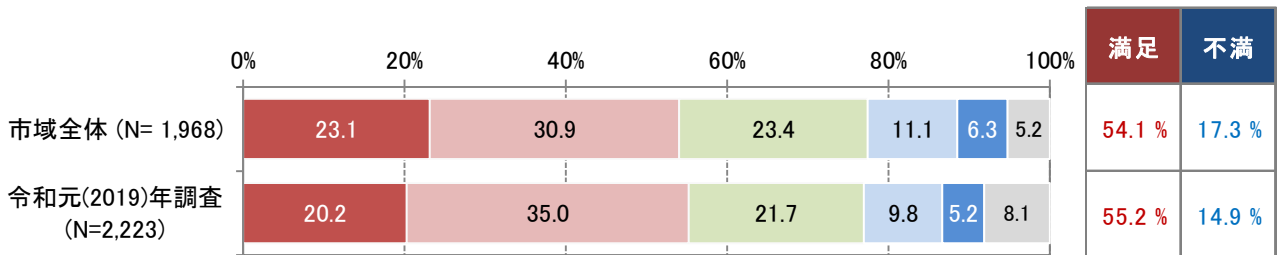


図 主な外出先の地域【市民アンケート結果】

②日常生活での移動の満足度 <市民アンケート結果>

- 『満足』が54.1%と過半数を占め、『不満』は17.3%である。
- 地域別では、大和地域で『満足』が45.7%と過半数を下回り、他の地域では『満足』が過半数を占める。



※令和元(2019)年調査は、5年前に実施した同様の調査結果のこと（以下、同様）

[地 域 別]

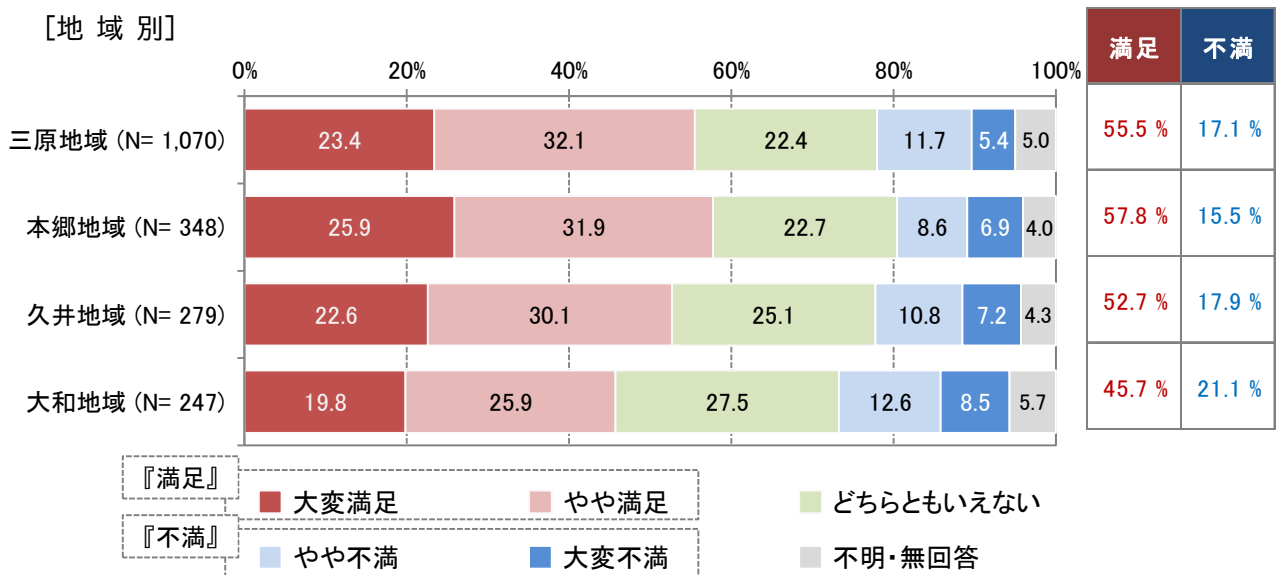


図 日常生活での移動の満足度【市民アンケート結果】

③地域の高齢者の移動問題 <民生委員・児童委員アンケート結果>

- 「大きな問題である」(30.1%)が最も多く、「大きな問題で近年、より深刻になっている」(27.4%),「どちらかといえば問題と思う」(25.8%)の順となっており、『問題あり』と考えているが8割強を占める。

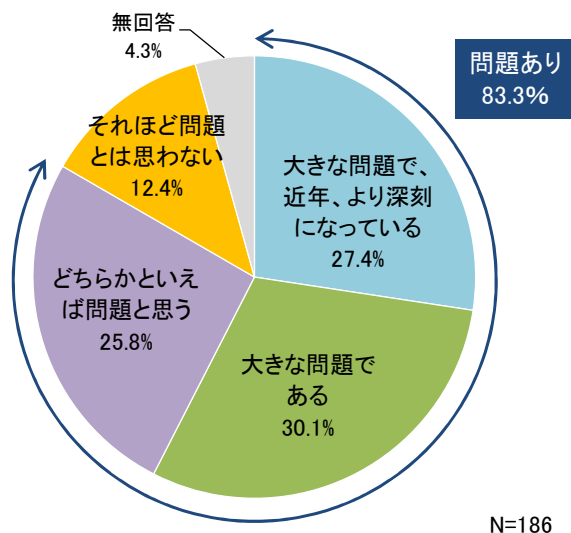


図 高齢者の移動手段の問題についての考え【民生委員・児童委員アンケート結果】

④数年後の移動手段への不安 <市民アンケート結果>

- 『不安』の割合が64.1%と6割を超えて高く、「不安を感じていない」は30.3%である。
- 地域別では、久井地域、大和地域で『不安』の割合が7割を超える。

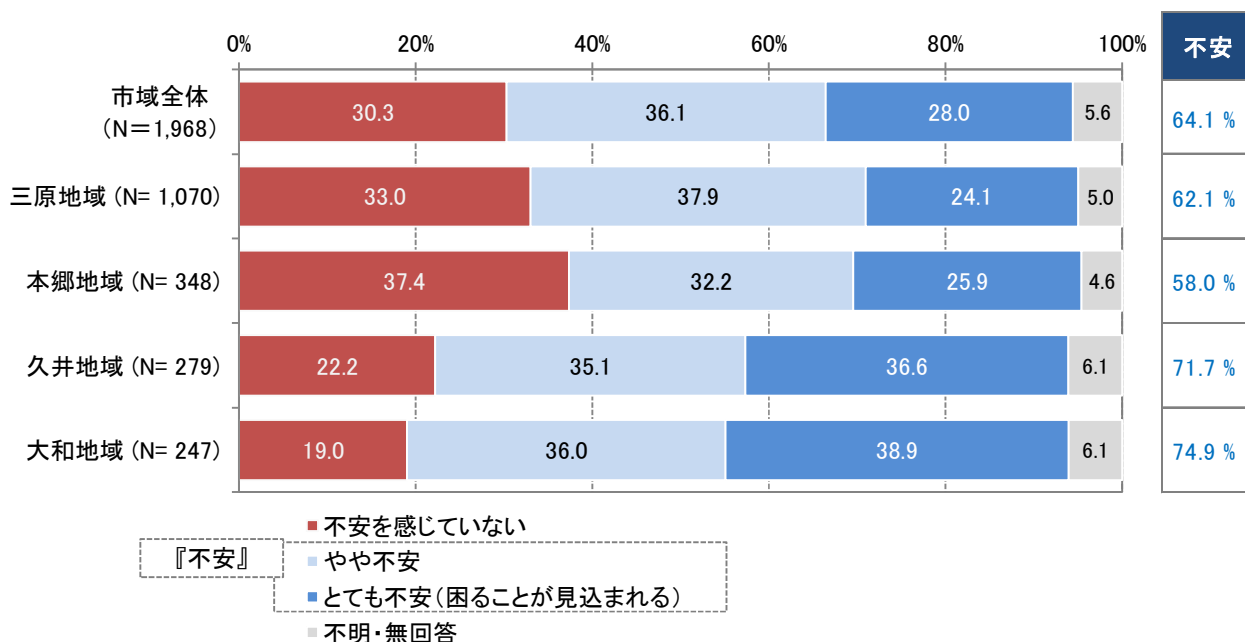


図 数年後の移動手段への不安【市民アンケート結果】

(2) 市内の公共交通

①路線バス

(ア) 利用頻度 <市民アンケート結果>

- 「全く利用しない」が75.1%。週1日以上利用する回答者は2.4%にとどまる。地域別では、三原地域で利用している人の割合が最も高く、本郷地域や大和地域で低い。
- 利用しない理由は「車など、他に便利な手段がある」の割合が80.0%と大半を占めるが、その他では本数、バス停までの距離に関する意見が比較的高い。

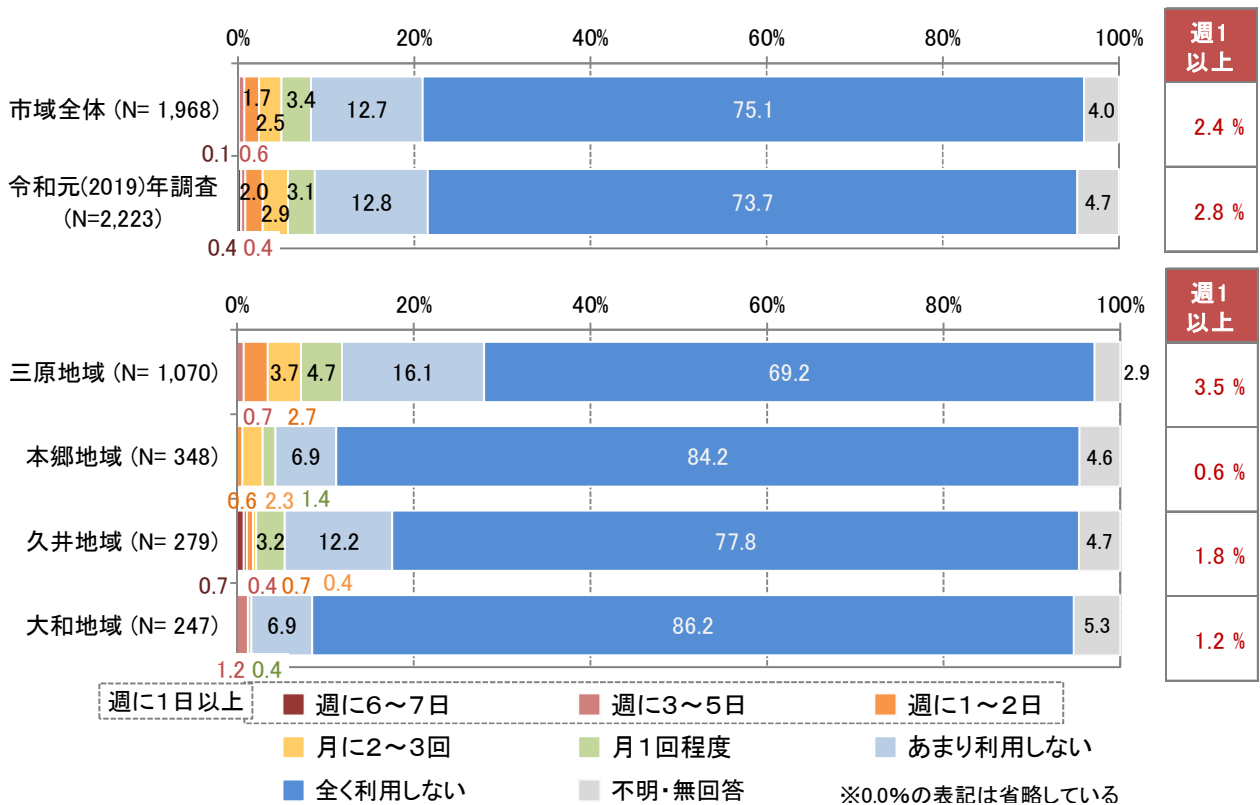


図 路線バスの利用頻度【市民アンケート結果】

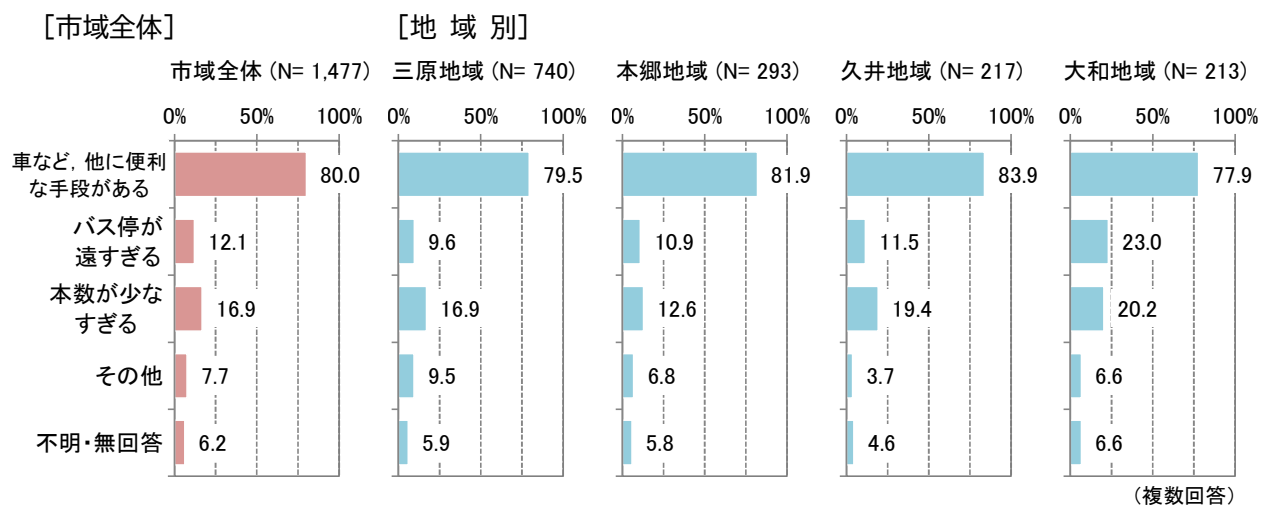


図 路線バスを利用しない理由<路線バスを全く利用しない人のみ>【市民アンケート結果】

(イ) 利用目的 <市民アンケート結果・路線バス利用者アンケート結果>

- 市民アンケート（利用している人のみ）の利用目的は「通院」（37.8%）が最も多く、「ショッピングや趣味・レジャー」（36.1%），「生活必需品の買物」（25.2%）と続く。また，三原地域と本郷地域では「ショッピングや趣味・レジャー」，久井地域と大和地域では「通院」「生活必需品の買物」が上位を占める。
- 利用者アンケートでは，「通勤」，「通院」，「生活必需品の買物」がそれぞれ約3割を占める。

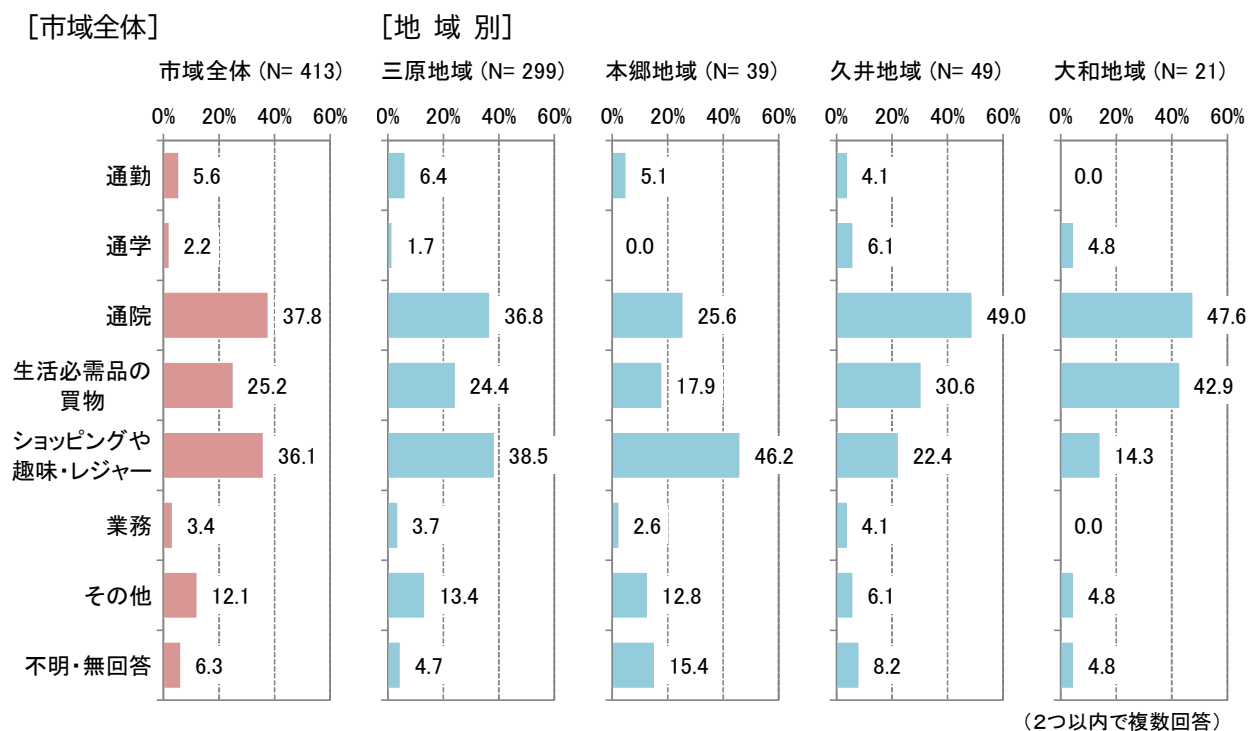


図 路線バスの利用目的（路線バスを利用している人のみ）【市民アンケート結果】

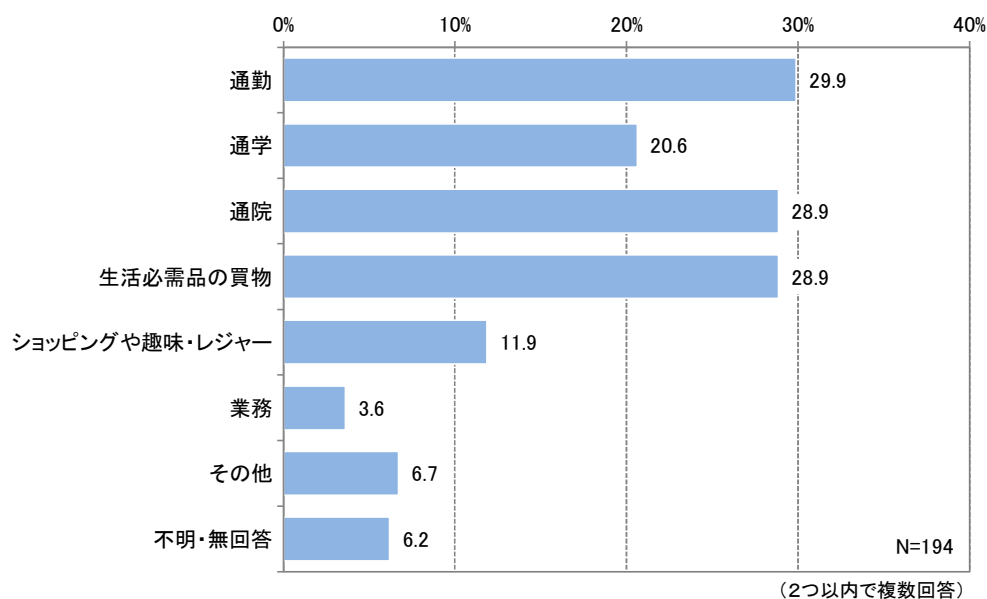


図 路線バスの利用目的【路線バス利用者アンケート結果】

(ウ) 満足度 <市民アンケート結果・路線バス利用者アンケート結果>

- 市民アンケートによる満足度（利用している人のみ）は、『不満』（40.9%）が『満足』（20.3%）を大きく上回っている。特に、久井地域や大和地域で『満足』の割合が低い。
- 一方、利用者アンケートによる満足度は、『満足』（50.0%）が半数を占める。
（市民アンケートよりも満足度が高いのは、利用者アンケート回答者の利用頻度が高いことが要因を推察できる）

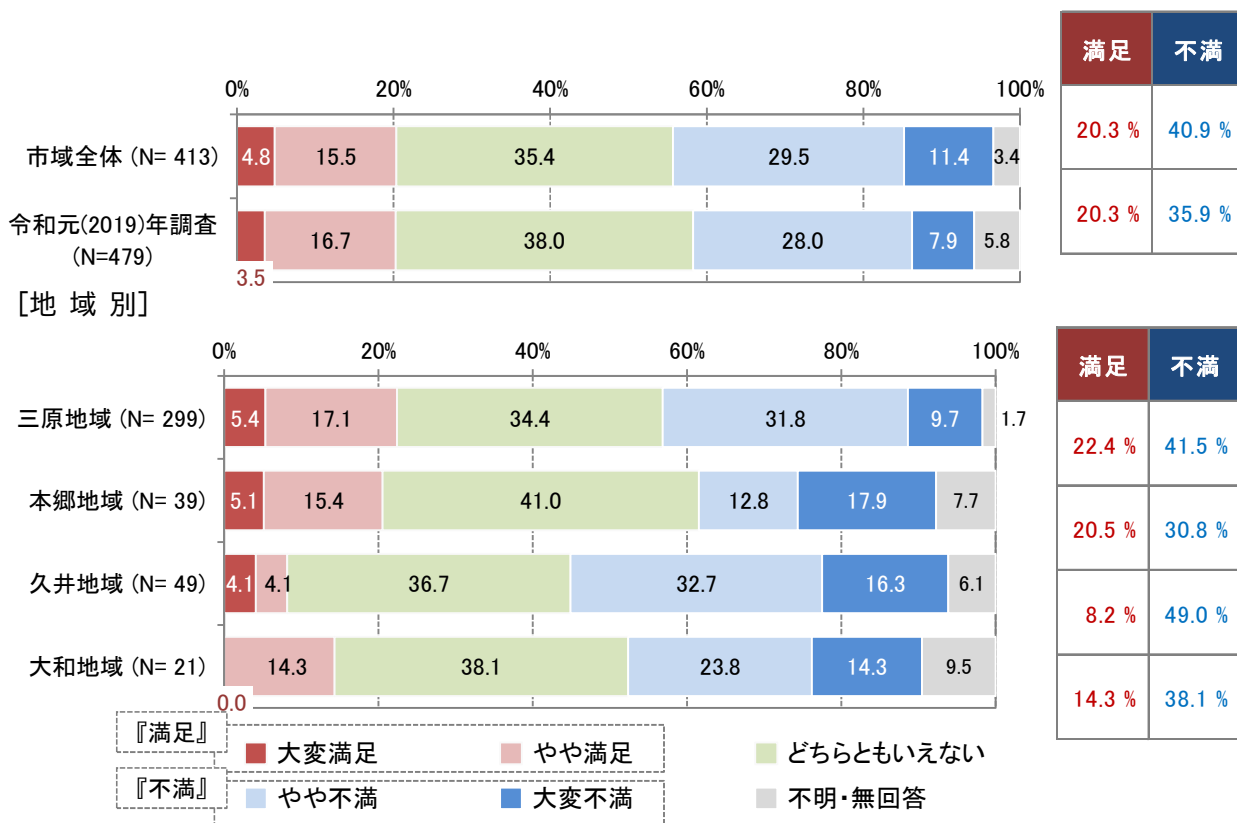


図 バス運行の満足度（路線バスを利用している人のみ）【市民アンケート結果】

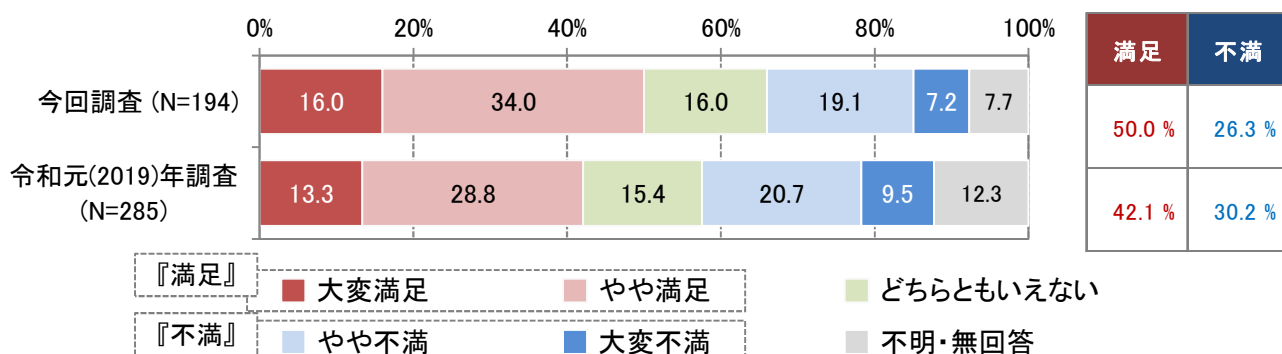


図 バス運行の満足度【路線バス利用者アンケート結果】

(エ) バス情報の調べ方 <市民アンケート結果>

- バス運行の情報の調べ方を年齢別でみると、29 歳以下では「その他インターネット」が過半数を占める一方、60 歳以上では「紙の時刻表」が6 割以上。

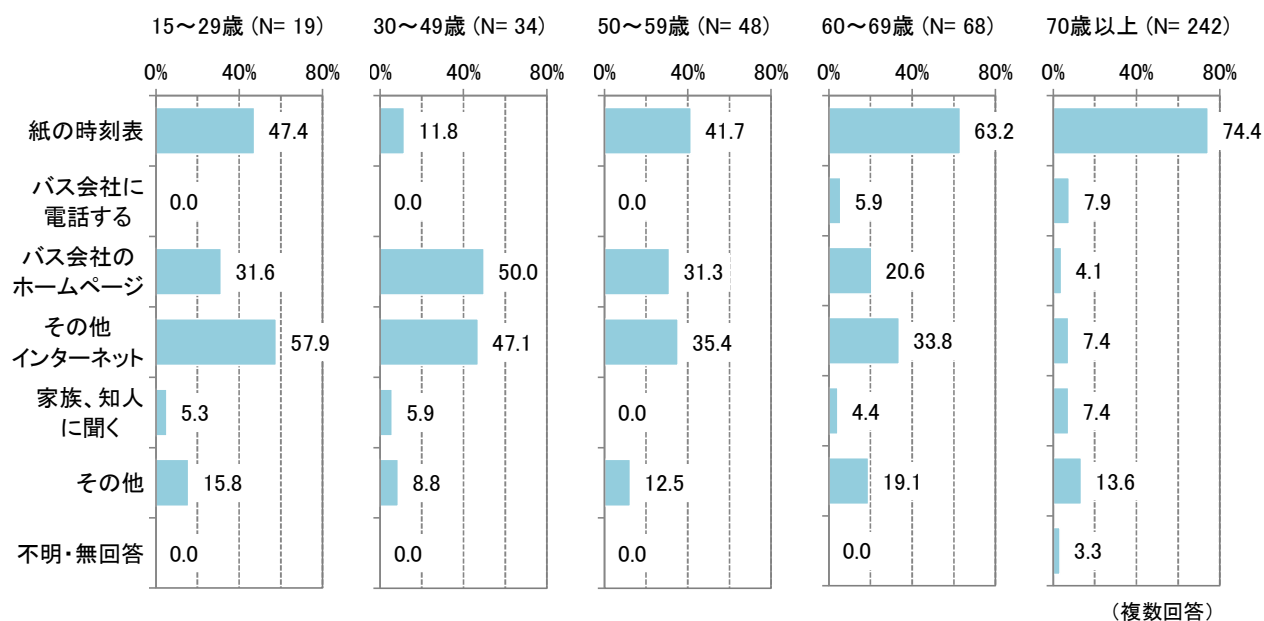


図 バスの情報の調べ方<路線バスを利用している人のみ>【市民アンケート結果】

(オ) 利用しにくいと感じる点 <市民アンケート結果>

- 路線バスを利用しにくいと感じる点は「バスの便数が少ない」が44.0%で最も多く、「家からバス停が遠い」(22.4%)が続く。
- 地域別では、全ての地域で同様の傾向となっているが、大和地域では「家からバス停が遠い」が、また久井地域と合わせた市北部では「バス運賃が高い」「行きたい場所へのバス路線がない」が比較的高い。

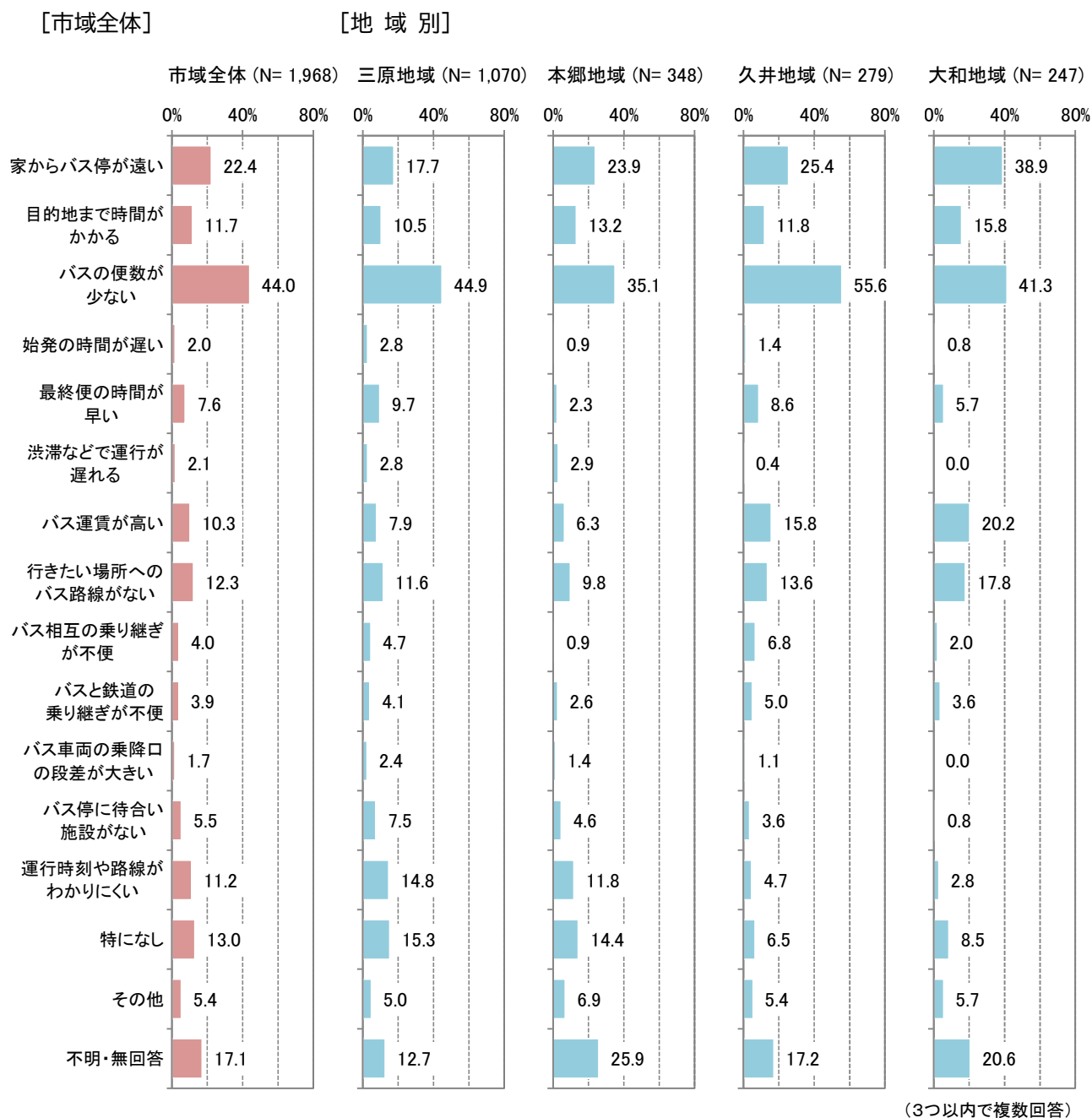


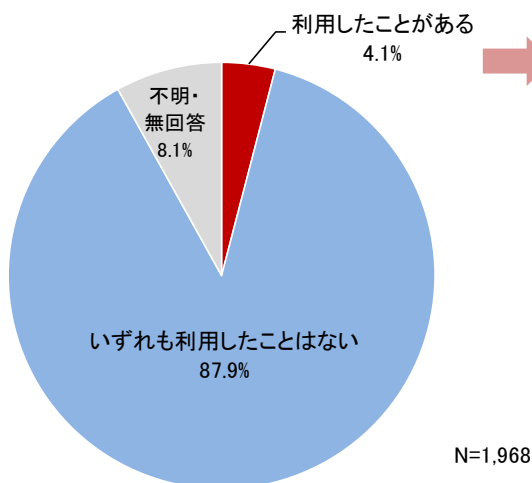
図 路線バスを利用しにくい点【市民アンケート結果】

②地域コミュニティ交通

(ア) 利用頻度 <市民アンケート結果>

- 「いずれも利用したことはない」が87.9%。利用したことがある地域コミュニティ交通は、「本郷ふれあいタクシー」1.6%が最も多く、「久井町乗合タクシーはなさく号」(1.0%),「大和ふれあいタクシー」(0.9%)と続く。
- 利用しない理由は、「使う必要がない(車など他に便利な手段がある)」(75.6%)が大半を占める。

[市域全体]



利用したことがある地域コミュニティ交通

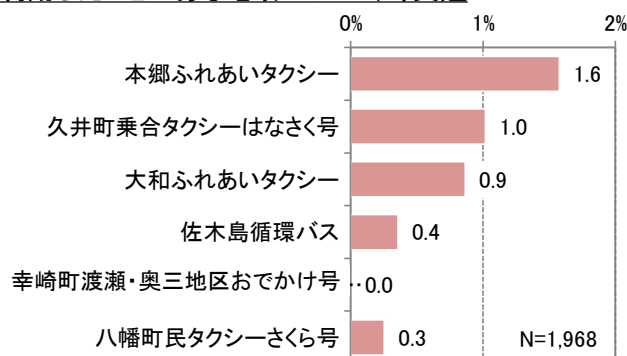


図 地域コミュニティ交通の利用有無【市民アンケート結果】

[市域全体]

[地域別]

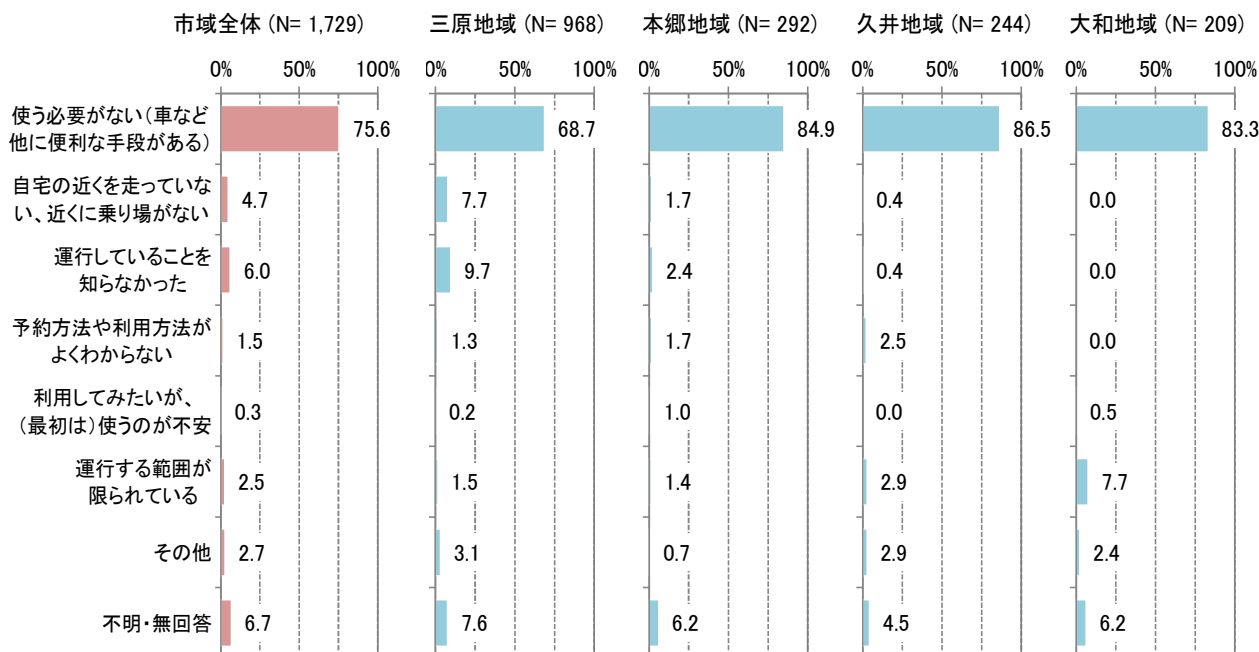


図 地域コミュニティ交通を利用したことがない理由(利用したことがない人のみ)【市民アンケート結果】

(ウ) 利用目的 <地域コミュニティ交通利用者アンケート結果>

- 地域コミュニティ交通の利用目的は、全ての地域で「通院」が最も多くなっており、特に、「幸崎」ではその割合が95%と高い。また、[八幡] (62.5%), [本郷] (52.5%) では「生活必需品の買物」も過半数を占めている。

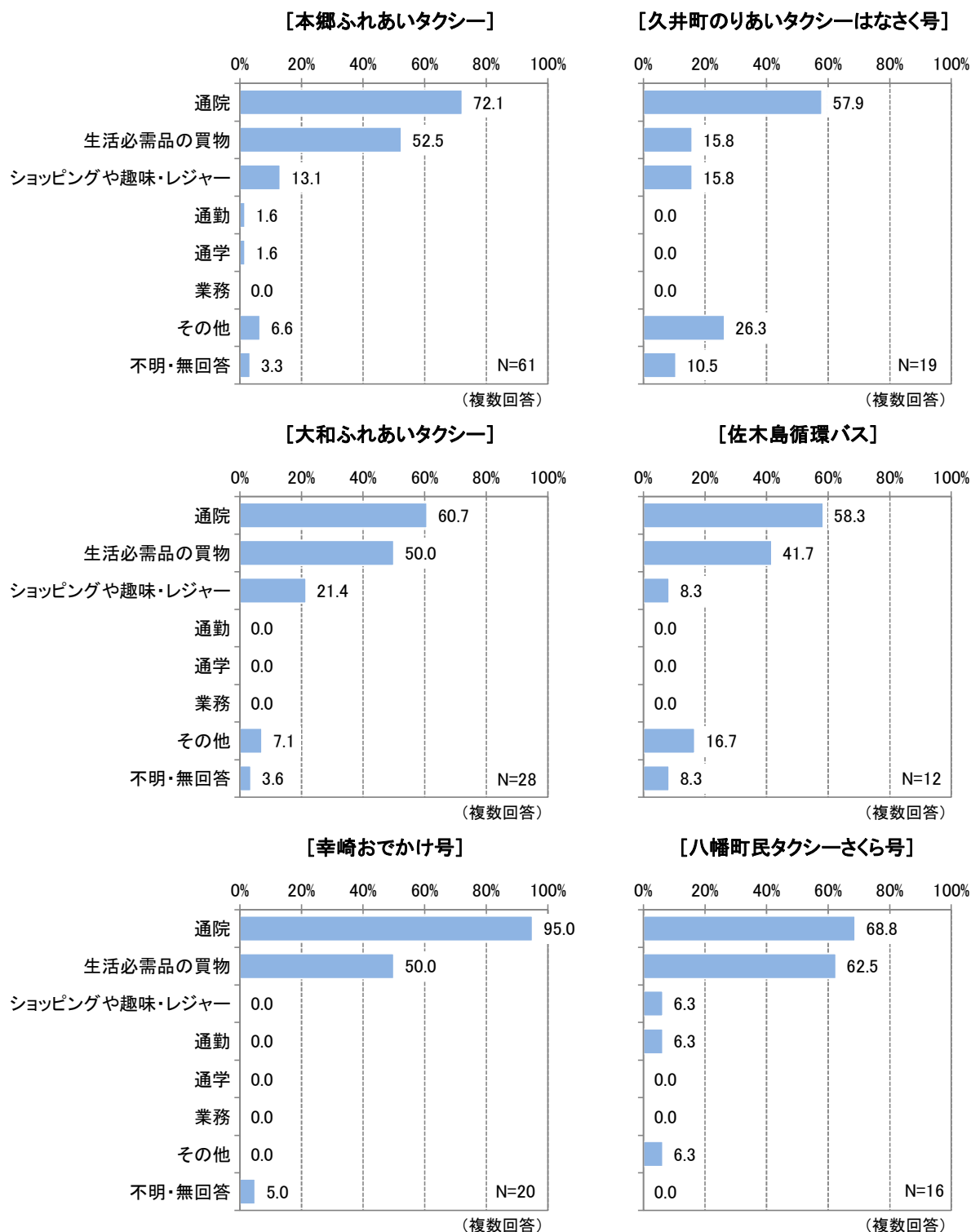


図 地域コミュニティ交通の利用目的【地域コミュニティ交通利用者アンケート結果】

(ウ) 満足度 <地域コミュニティ交通利用者アンケート結果>

- 利用者の満足度をみると、全ての地域コミュニティ交通で『満足』が『不満』を上回っており、特に[八幡][幸崎]では85%以上が『満足』と回答。一方、[佐木島]では「やや不満」が25.0%となっており、他の交通と比べて不満を感じている割合が高い。

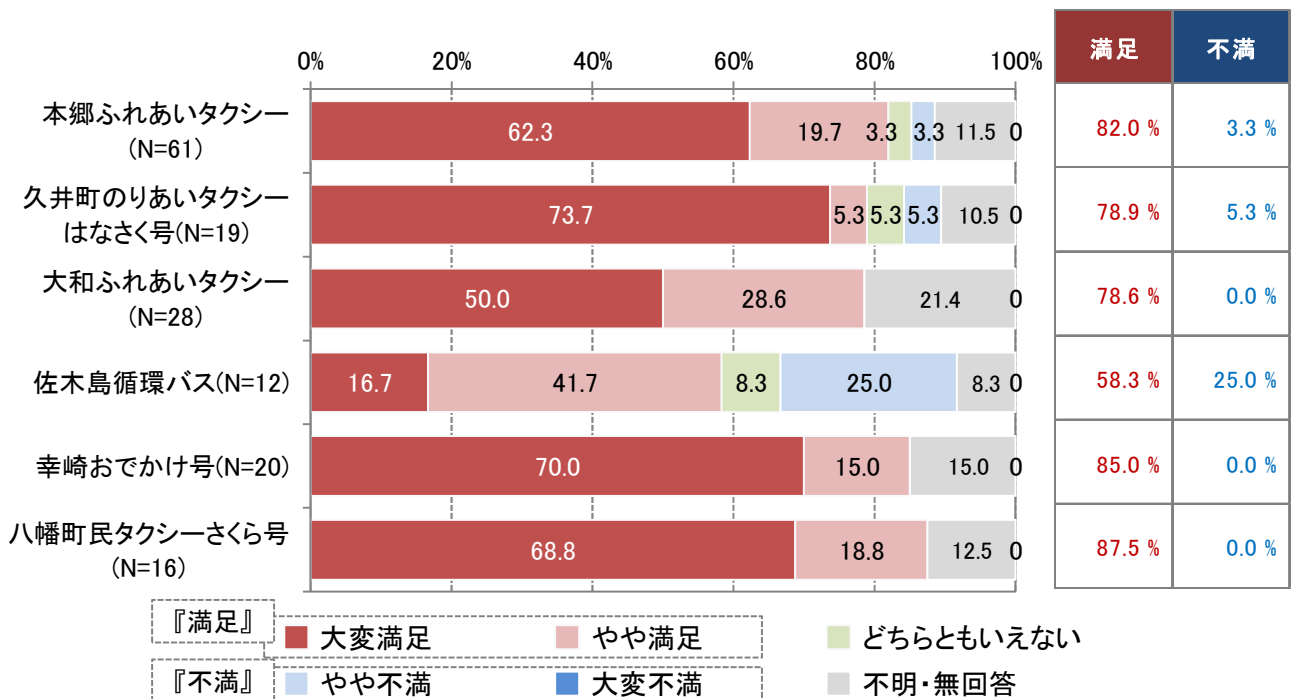


図 地域コミュニティ交通の満足度【地域コミュニティ交通利用者アンケート結果】

(エ) 利用しにくいと感じる点 <地域コミュニティ交通利用者アンケート結果>

- 利用者が利用しにくい点は、大半の地域コミュニティ交通で運行日（[佐木島]は土日祝運行）に関する回答が多い。
- 一方、[久井]では「町外の目的地に直接行けない」と「特にない」が同率（31.6%）で多くなっている。

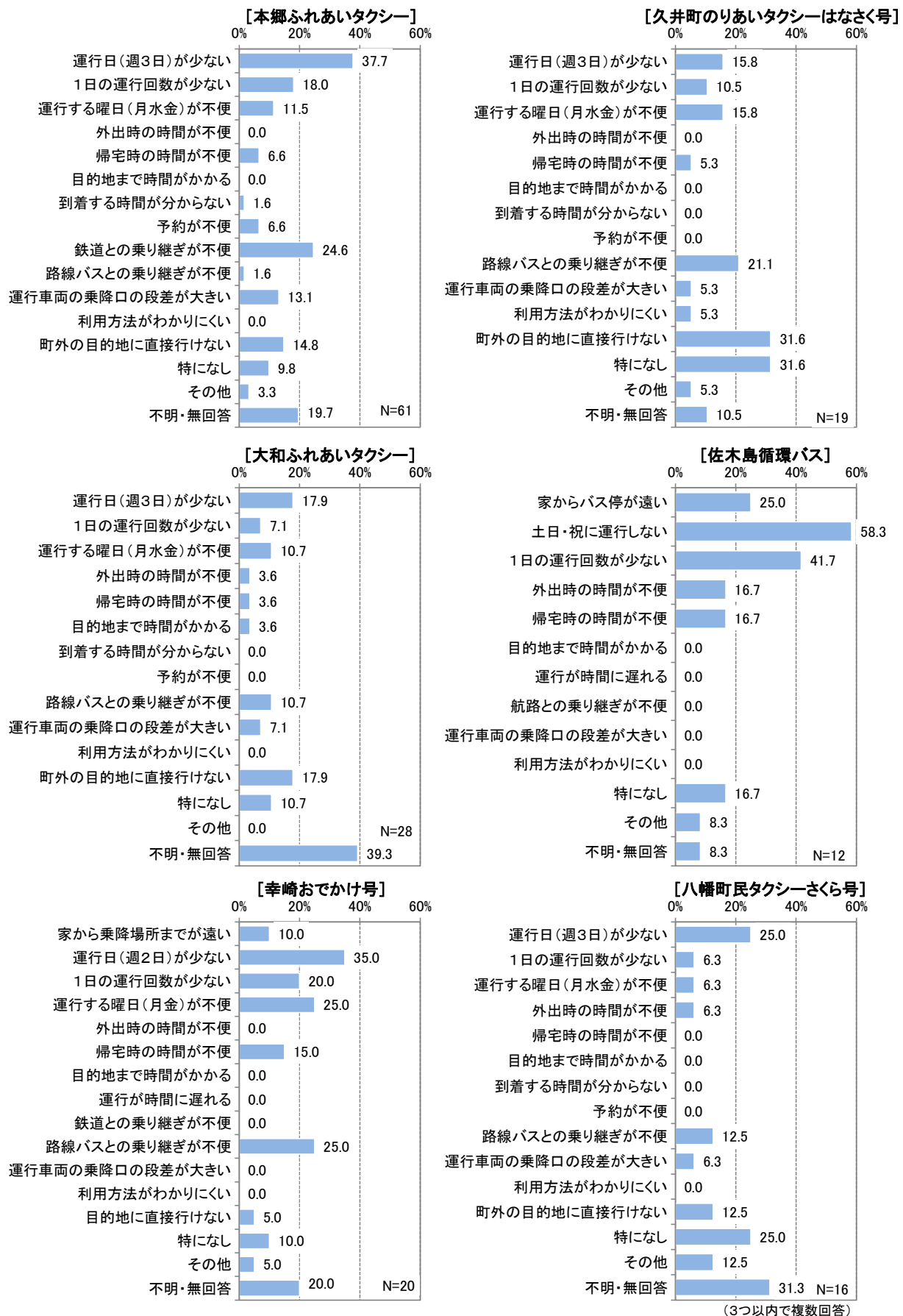


図 地域コミュニティ交通を利用しにくいと感じる点【地域コミュニティ交通利用者アンケート結果】

(3) 今後の公共交通について

①路線バス維持の考え方 <市民アンケート結果>

- 「行政負担を継続して、今の路線バスを維持すべき」が最も多く47.7%。「さらに行政負担を増やして、今の路線バスを充実すべき」(14.2%)とあわせると、行政負担で今の路線バスを維持すべきという考えが過半数を超える。

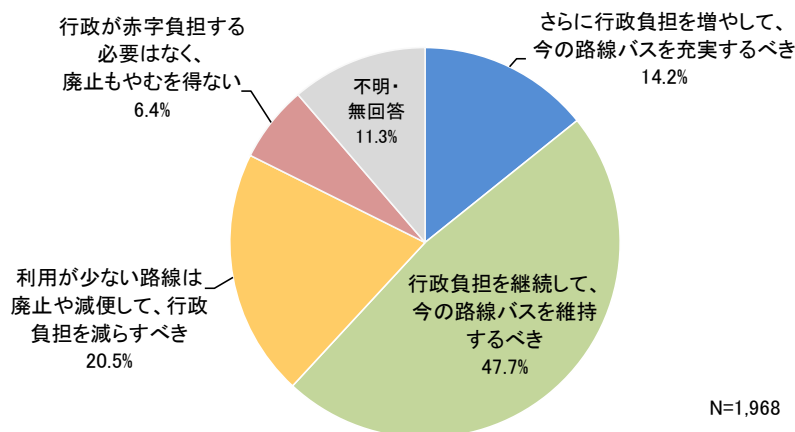


図 路線バスの維持の考え方<市民アンケート結果>

②移動に困っている高齢者等への支援策 <民生委員・児童委員アンケート結果>

- 1番有効な方策は、「自宅付近を走る小型の公共交通を導入」(32.8%)が最も多く、「福祉分野での外出支援サービスの充実」(29.6%)と続く。
- 1番有効～3番めに有効までを合計すると、「福祉分野での外出支援サービスの充実」(72.6%)が最も多く、「自宅付近を走る小型の公共交通を導入」(60.2%)、「タクシーを利用しやすくする方策の実施」(54.8%)と続く。

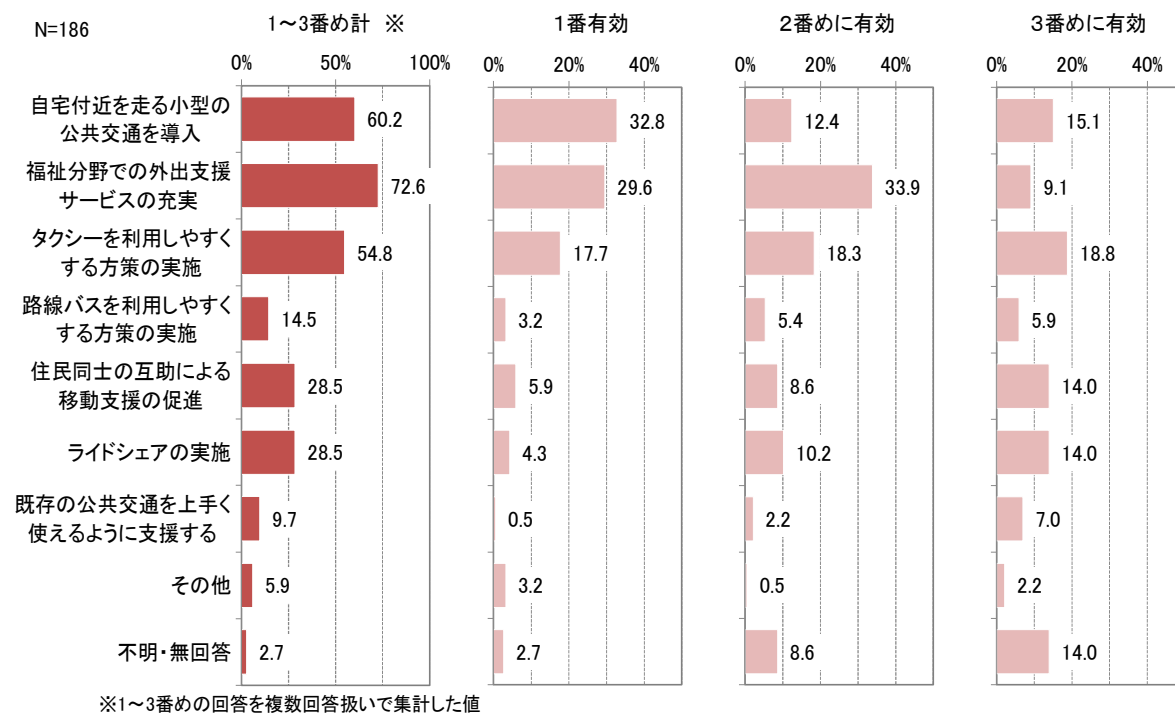


図 移動に困っている高齢者が公共交通を利用するために有効な方策<民生委員・児童委員アンケート結果>